

編集委員

委員長 町 泉寿郎

磯 水絵

高山 節也

田中 正樹

編集後記

記念すべき本誌第十号をお届けする。今号は論文五篇、資料紹介二篇、書評一篇、講演記録の寄稿一篇、計九篇を掲載することができた。内容的には江戸期を対象とした論稿・資料紹介が多くなった。近年の傾向でもあり、本誌の傾向であるかも知れない。宮地氏のご寄稿は、本学の大学資料展示室の主催による講演会（平成二十六年五月十日）の講演内容を、依頼して寄稿いただいたものである。

既刊分を通覧してみると、二十一世紀COEプログラムの二年目に当たる平成十七年度末に創刊以来、本誌はこの十年間に論文七十六篇（うち英文五篇）、研究ノート七篇、資料紹介十四篇、書評三篇、学界動向一篇、巻頭言や講演記録等の寄稿四篇、計一〇五篇を世に送った。学界時評等で本誌収載論文が取り上げられているのを見るにつけ、日本漢文学・日本漢学・日本思想史学等の関連分野の研究に本誌が寄与していることを喜ばしく思うとともに、これまでご理解ご協力いただいた関係各位に、あらためて感謝申し上げます。

二十一世紀COEプログラムで掲げた初心「日本学としての漢文研究」の研究教育拠点形成」に立ち返り、そのための更なる努力をここに誓いたい。

（町 泉寿郎）